

令和6年度 学校評価結果

上尾市立尾山台小学校

【評価の見方】
 4…大変そう思う 3…そう思う 2…ややそう思わない 1…全く思わない
A (平均3.4以上) 達成できた **B** (平均2.8以上3.4未満) 概ね達成できた **C** (平均2.8未満) 改善の必要あり
 ※総合評価については、後期数値の平均値によってA～C評価の判断をする。 ◎成果 ▲改善点 →改善策

評価の観点			自己評価				学校関係者評価
	項目		前期評価	前期数値	後期評価	後期数値	総合評価
I 学校 運営	1	校務支援システムを効果的に活用している。	A	3.4	A	3.7	A (3.62)
	2	校務分掌組織を機能させた協働体制の下、各会議の効果的な運営がなされ、共通理解が図られている。	A	3.5	B	3.3	
	3	学校の特色、実態に即した学校行事計画となっている。	A	3.6	A	3.8	
	4	学校の特色、実態に即した日課となっている。	A	3.7	A	3.7	
	5	個人情報等が適切に保管されている。	A	3.8	A	3.6	
<p>◎校務支援システムを活用することで、職員の出退勤の管理・職員間の連絡・児童の成績管理等のペーパーレス化と業務量削減につながった。 ◎異学年交流の時間「GETタイム」、自由遊びの時間「のびのびタイム(昼休み)」「ロングのびのびタイム(ロング昼休み)」の充実により、学年問わず楽しく交流する姿を様々な場面で見ることができた。全校の祭り「GETフェスティバル」では、生活科・総合的な学習の時間の学習の成果を発表したり、保護者や地域の方との交流をもったりすることができた。 ◎夏季休業中などを利用し、書棚や資料室の整理を実施し、個人情報等の保管状態が向上した。 ▲今年度は2学期の成績処理事務期間に会議が入り、時間確保が難しかった。→イレギュラーの部会が入ってしまったが、来年度は各部署で計画的に進めらるよう各主任が自覚をもつ。教務主任と日程管理を密に行う。 ▲清掃を定刻の13時から始められない様子が見受けられる。給食の時間を短縮することは難しいため、日課の見直しを検討できないか。→児童の実態に合わせ、給食・歯みがき終了後、掃除場所までの移動時間として5分程度確保する。13時05分までには清掃を開始するというのを全体で共通理解する。 ▲週に1回の「学びタイム」を、漢字や計算練習の時間として活用したかったがアンケートを実施することが多かった。→授業時間を確保するには、授業時間外の「学びタイム」でアンケートを取ることが望ましい。毎月の生活アンケートや教育委員会からの調査に係るアンケート調査は、来年度も「学びタイム」を使っていく。「学びタイム」は20分間あるので、アンケートが早く終わった場合に行ける習熟課題を準備するなどして、対応していく。</p>							
II 教科等 の指 導・ 研修	6	教育目標を具現化し、取り組んでいる。	A	3.7	A	3.6	A (3.46)
	7	分かる授業のための創意工夫を行い、児童が活躍し進んで発表している。	B	3.2	B	3.1	
	8	ICT機器を積極的に活用した授業を実践し、必要に応じペーパーレス化を進めている。	A	3.5	A	3.6	
	9	教育課程の適切な編成と実施がなされている。	A	3.6	B	3.3	
	10	教育活動全般において、褒める教育を推進している。	B	3.3	A	3.4	
11	校内研修(研究)に主体的に関わり、研修を深めている。	A	3.9	A	3.8		
<p>◎本年度重点目標の「笑顔あふれる子」「自ら学ぶ子」「仲間と共に学ぶ子」「すすんで体を動かす子」の実現に向け、日課や行事を工夫し、児童・保護者アンケートの関連項目結果が向上した。 ◎年間を通して、自分の思いを伝えられる・発表することができる児童の育成に取り組んだ。授業での話し合い活動を増やしたり、英語でのスピーチコンテスト(GETスピーチコンテスト)を新規に行ったり、全校集会(おや小集会)で児童が発表する場を設定したりした。進んで発表する児童の割合が増えた。 ◎ICT機器の活用を推進できた。教師が、教科や内容に合わせてGoogleアプリやスクールタクト等を選び、児童がICT端末を積極的に活用する授業を実践できた。 ◎スクールワイドPBS(学校規模での褒める教育)に取り組み、全教職員で児童に肯定的な声かけを行うことで、児童の「学校が楽しい」という意識が向上し、保護者の評価も高かった。 ◎学校課題研究の研究発表会を開催し、本校の取組を広く発信できた。スクールワイドPBSによる児童作成の生活目標の具現化、自由進度学習や経験単元による生活科・総合的な学習の時間(OKタイム)の実践を行うことで、児童の学ぶ意欲や自己肯定感向上の成果があった。 ▲工夫した教育課程を実施するため、時間割の入替が多く、授業時数の管理が難しかった。→毎月末の実施時数の確認を徹底していく。授業者と教務主任の複数の目で確認し、適切に実施していく。 ▲高学年の授業時数に余裕があると良い。→標準授業時数の確保はできているため、現状維持で授業改善等で対応する。特別日課期間の短縮やクラブを実施しない日を6時間授業とする等、若干の余剰増は検討する。</p>							

・評価は適正、良好であると判断します。
 ・学校での楽しさが伝わってきます。
 ・子供の意見が多く取り入れられていることを、子供も実感できているようで、日々様々なことをとても楽しそうに話してくれています。運動会の選択種目(リレーと個人競技の選択)等、よい取組だと思えます。
 ・他学年や他学級の先生方とも親しく交流できていることが、とても素晴らしいと思えます。
 ・近年、指導者は大変ですが、今後もよろしくお願ひします。

・評価は適正、良好であると判断します。
 ・少人数の学校ならではの工夫やコミュニケーションのよさが生かされています。
 ・ICT端末の活用を子供が楽しんでできているようで、とてもよいと思えます。

Ⅲ 児童 理解	12	一人一人の児童理解に努めている。	A	3.7	A	3.5	A (3.5)	<ul style="list-style-type: none"> ・評価は適正、良好であると判断します。 ・子供から、これらの項目に関してマイナスな話を聞いたことが無いので、とてもよい環境なのだと思います。 ・いじめや不登校の対応は大変だと思います。引き続きよろしくお願いします。 ・いじめは難しい問題ですが、児童や保護者からの情報収集を行い、今後とも取り組んでください。 ・いじめ、不登校の未然防止には、引き続き、注力していきたい。
	13	いじめ・不登校の未然防止、早期解消に向けた取組を行っている。	B	3.2	B	3.3		
	14	関係機関と連携した生徒指導・教育相談体制が整備されている。	A	3.6	A	3.5		
	15	問題行動に対し、組織的な対応を心がけている。	A	3.8	A	3.7		
	<p>◎毎日の健康観察、養護教諭の保健記録、毎月の生徒指導・教育相談委員会での情報を全教職員で共有し、児童一人一人の実態把握に努め、「学校が楽しい」と感じている児童が増えた。</p> <p>◎いじめ・不登校の未然防止、早期解消に向け、日々、校内の巡回を複数の目でを行い、情報を共有した。保護者による「子供見守り活動」も定着し、開かれた学校を作ること、誰でも受け入れられる明るい雰囲気のある学校になっている。</p> <p>◎問題行動があった場合は、即時に組織的に対応することを徹底することで、児童の行動に改善が見られた。</p> <p>◎必要に応じ、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、さわやか相談員、教育センター、医療機関と連携し対応することで、誰もが安心して登校できる学校づくりを推進できた。また、スペシャルサポートルーム(ほっとルーム)や保健室の学習スペースも適切に利用できた。</p> <p>▲今後も問題行動を適切に把握し、校内での指導方針を明確にし、共通理解・実践が重要である。→生徒指導・教育相談委員会での協議の時間を多くもつようにしていく。ケース会議を入れるなどし、教師の資質向上を図っていく。</p>							
Ⅳ 安全・ 健康	16	安全指導を計画的に行い、児童の防災意識の高揚を図っている。	A	3.6	A	3.7	A (3.68)	<ul style="list-style-type: none"> ・評価は適正、良好であると判断します。 ・不審者侵入にも対応して有り難いです。 ・安全対策を講じていてよいと思います。 ・子供の話を聞いていると、訓練がしっかりと身についていると感じます。
	17	あらゆる危機を想定した訓練、危機管理体制が構築されている。	B	3.3	A	3.4		
	18	体力向上に向けた適切な計画と実施がされている。	B	3.2	A	3.6		
	19	安全点検を適切に行い、安心・安全で、明るくきれいな環境作りに取り組んでいる。	A	3.7	A	3.9		
	20	児童の健康を把握し、適切に対応している。	A	3.8	A	3.8		
<p>◎地震・火災の他に、不審者侵入や竜巻など様々な危機を想定した訓練を計画・実施ができた。消防署や警察などに協力を依頼し、ゲストティーチャーとして来校してもらうことで、より実践的な訓練を行えた。</p> <p>◎1000m走記録会に向けたRunRunタイム、全校での大縄大会を実施することで、楽しんで運動する児童の姿を多く見ることができた。</p> <p>◎新体力テストで課題となった投力の向上を図るために、全校で体育授業に「投の運動」を取り入れた。再度、ボール投げの記録を測り、児童が自身の伸びを実感できるようにした。</p> <p>◎なわとびのジャンプ台を職員作業で製作・設置することで、児童の意欲付けを図った。</p> <p>◎毎月の安全点検では、教員以外にスクールサポートスタッフや用務員にも依頼し、修理箇所を早期に発見し、修繕を行った。また、学校応援団環境美化部の活動により、校内美化が大きく進んだ。</p> <p>◎児童の健康管理については、学校配信メールシステム「さくら連絡網」で保護者と直接やり取りができ、有効であった。</p> <p>▲危機管理マニュアルについては、年度当初の確認にとどまっているため、誰もがいつでも見られる場所に置き、更新していくとよい。</p>								
Ⅴ 特別支 援教育	21	特別に配慮を要する児童について、情報を共有し、指導にあたっている。	A	3.9	A	3.9	A (3.7)	<ul style="list-style-type: none"> ・評価は適正、良好であると判断します。 ・先生方がとても一生懸命対応してくださっていることが、子供の話からよく伝わってきます。 ・子供たちが笑顔になっているようです。
	22	特別支援教育の視点に立った教育の推進、インクルーシブ教育に努めている。	B	3.3	A	3.5		
<p>◎アップスマイルサポーター、特別支援学級補助員の適切な配置により、配慮の必要な児童への対応を意図的に行った。</p> <p>◎毎日、担任・教務・養護教諭・サポーター・事務室・管理職等、全職員で特別に配慮が必要な児童についての情報を共有し、適時対応に努めた。</p> <p>◎毎月の生徒指導・教育相談委員会、児童の様子を共有し、教職員全員で対応した。</p>								

VI 家庭・ 地域連 携	23	ICTを活用して積極的に、たよりやホームページ等で本校の教育活動や児童の様子などの情報発信に努めている。	A	3.4	A	3.5	A (3.4)	<p>・評価は適正、良好であると判断します。</p> <p>・学校配信メール「さくら連絡網」を活用されていて、分かりやすく、有り難いです。</p> <p>・学校配信メール「さくら連絡網」の活用で、学校や先生との連携が取りやすくて、大変助かっています。</p> <p>・配信メールは、見落としがなさそうでよいと思います。</p>
	24	幼・保・小・中・高の連携が図られている。	B	2.9	B	3.0		
	25	配信メールや連絡帳、電話、個人面談、教育相談等で保護者との連携を図っている。	A	3.6	A	3.6		
	26	学校応援団や地域の教育力を活用した教育活動を行っている。	B	3.3	A	3.5		
	<p>◎学校配信メール「さくら連絡網」を活用することで、学校・保護者・地域とが、迅速な対応、情報の共有をすることができている。</p> <p>◎学校ホームページの更新を定期的に行い、本校の教育活動や児童の様子を家庭・地域に発信できた。</p> <p>▲コロナ禍で中止になって以降止まっていた交流を再開し始めたが、幼・保・小・中・高の連携・情報共有が十分とは言えない。→今年度は夏季休業中に、瓦葺中学校区の3校で教職員研修を実施できた。また、3学期には、3校で互いに授業公開をし参観することができた。幼・保・小間では、地域の保育園の参観、園児を招待しての小1年生との「なかよし交流会」を実施することができた。ただ、十分とは言えないため、来年度はより一層連携行事等を増やしていく。</p> <p>▲学校応援団(おや小応援団)の方には、登下校の見守り・図書館整備・読み聞かせ・環境美化で大変お世話になっているが、授業に直接関わってもらう場面がもっとあるとよい。→学習支援は、授業の進め方の確認や児童の個人情報管理等、事前の打合せや守秘義務に関する制約等があり、他のボランティアより実施のハードルが高い。ミシン学習や書きぞめの支援、生活科の町探検の見守り等、今もしている活動を充実させていく方向で考えていく。</p>							
VII 児童の 生活・ 学習・ 健康	27	児童は、進んであいさつしている。	C	2.8	B	2.9	B (3.03)	<p>・評価は適正であると判断します。</p> <p>・評価の低い項目については、更なるランクアップをお願いします。改善策を立て、努力してください。</p> <p>・元気、健康、外遊びが大好きという子供たちの様子を知り、嬉しく思います。まずは元気な身体。そして健全な精神が育つと思います。</p> <p>・あいさつは、声が小さかったり、言葉遣いが悪いと感じたりするお子さんもいました。</p> <p>・引き続き、あいさつや言葉遣いを大切にしてほしいです。</p> <p>・校舎の配置によって、移動教室時等の時間が足りなくなりがちで、少し大変そうでした。</p> <p>・4年生は、もっと読書をしたいと思っている子が多いようですが、南校舎3階に教室があるため、北校舎3階の図書室が遠く、なかなか借りに行かれないと残念がっていました。</p>
	28	児童は、言葉遣いに気を付けている。	C	2.6	B	2.9		
	29	児童は、きまりを守っている。	B	2.9	B	3.0		
	30	児童は、思いやりをもって生活している。	B	3.0	B	3.0		
	31	児童は、主体的に学習する態度が身に付いている。	C	2.8	B	2.9		
	32	児童は、計画的に授業準備や学習を進めている。	B	2.9	B	3.0		
	33	児童は、読書に親しんでいる。	B	3.0	B	2.9		
	34	児童は、進んで外遊びをしている。	B	3.3	A	3.6		
	35	児童は、睡眠や食事をしっかりと取っている。	B	3.1	B	3.1		
	<p>◎計画委員会の児童があいさつ運動を企画し、全校で取り組むことで、成果が見られた。</p> <p>◎自由進度学習の取組により、学習の計画を自分で立てたり、学習の方法を自分で選択したりする、自律的な学習力が身に付いてきている。</p> <p>◎進んで外遊びをする児童が増えたことは、よい傾向である。</p> <p>▲授業準備が整っていない状態で、授業開始のチャイムを迎えてしまう児童がいる。→個人差が大きいので、全体での指導の他に、個別の声掛けを繰り返し行い、定着させていく。</p> <p>▲週に1回「よむよむタイム」があるが、個人で読書を楽しむ時間も多いとよい。→登校後、朝の会までの時間や給食準備中などを読書時間に充てる等して、今の日課で工夫して取り組んでいく。まずは担任が本を読む姿を見せる、読み聞かせをする等して、本に親しむ環境を作る。また、学級文庫の交換回数を増やしたり、南校舎のミニ図書室の図書を充実させたりすることを検討していく。移動式のラックを使って、南校舎にも貸し出し用の図書を配置することも一案である。</p>							